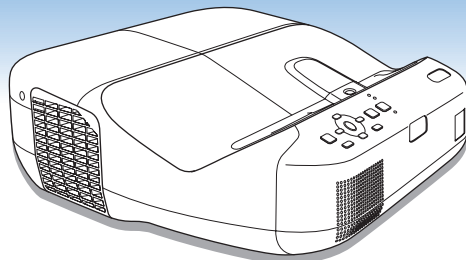
ビジネスプロジェクター

EB-595WT

かんたん操作ガイド

本書では、以下を説明しています。

- 本機を使い始めるまでの準備
- 投写して映像を補正するまでの基本操作
- インタラクティブ機能の概要

目次

本機を壁掛け・天吊り設置するための工事が済んでいるときは、
設置や映像の補正まで完了している場合があります。

インフォメーションセンター
050-3155-7010

製品の操作方法・お取扱等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。
【受付時間】月～金曜日 9:00 ～ 20:00　土曜日 10:00 ～ 17:00
（祝日、弊社指定日を除く）

※上記電話番号をご利用できない場合は、042-503-1969 へお問い合わせください。

サービスコールセンター
050-3155-8600

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先
【受付時間】月～金曜日 9:00 ～ 17:30（祝日、弊社指定日を除く）

※上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949 へお問い合わせください。

エプソンのホームページ
http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

同梱品を確認する

プロジェクター本体

リモコン

単 3 型マンガン電池
（リモコン用）

Easy Interactive Pen
（2 本）

単 3 型マンガン電池
（Easy Interactive Pen 用）

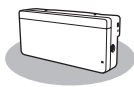
ペントレイ

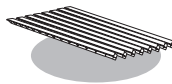
パスワード
プロテクトシール

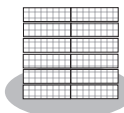
電源コード
（日本国内専用）約 4.5m

USB ケーブル
約 5m

・お客様情報
＋正式保証書発行カード
・返信用封筒

タッチユニット

タッチユニット接続ケーブル
約 2.8m

赤外線ディフレクター
約 28.5cm（8 本）

目印ラベル

マーカー固定用テープ
6cm

ネジ止め用スペーサー
3 個

EPSON Projector Software

[収録ソフトウェア]

EasyMP Network Projection
EasyMP Multi PC Projection

Document CD-ROM

[収録マニュアル]

取扱説明書など
各種マニュアル

EPSON Projector Software
for Easy Interactive Function

[収録ソフトウェア]

Easy Interactive Tools
Easy Interactive Driver

PenPlus for EPSON 電子黒板 CD-ROM

[収録ソフトウェア]

PenPlus for EPSON 電子黒板

本製品のマニュアルについて

本機には次のマニュアルが添付されています。本機を安全に正しくお使いいただくために、添付のマニュアルをよくお読みください。

冊子（紙）のマニュアル

『設置工事説明書』

本機を壁掛け設置する手順や、タッチユニットを設置する手順が記載されています。設置時に必ずご覧ください。

『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』

本機を安全にお使いいただくための注意事項やサポートとサービスのご案内が記載されています。
お使いいただく前に必ずご覧ください。

『かんたん操作ガイド』（本書）

本機を使い始めるまでの準備、投写して映像を補正するまでの基本操作を記載しています。
インタラクティブ機能の概要も説明しています。

より詳細なマニュアルは、Document CD-ROM に収録されています。

CD 収納のマニュアル

『取扱説明書』（PDF）

本機の操作方法全般と、環境設定メニューの使い方、困ったときの対処方法、お手入れ方法などを記載しています。

『EasyMP Network Projection 操作ガイド』（PDF）

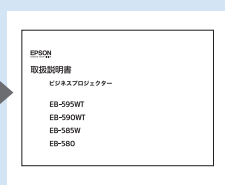
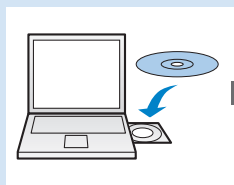
EasyMP Network Projection の使い方を記載しています。
ネットワーク経由でコンピューターの画面を本機から投写できます。

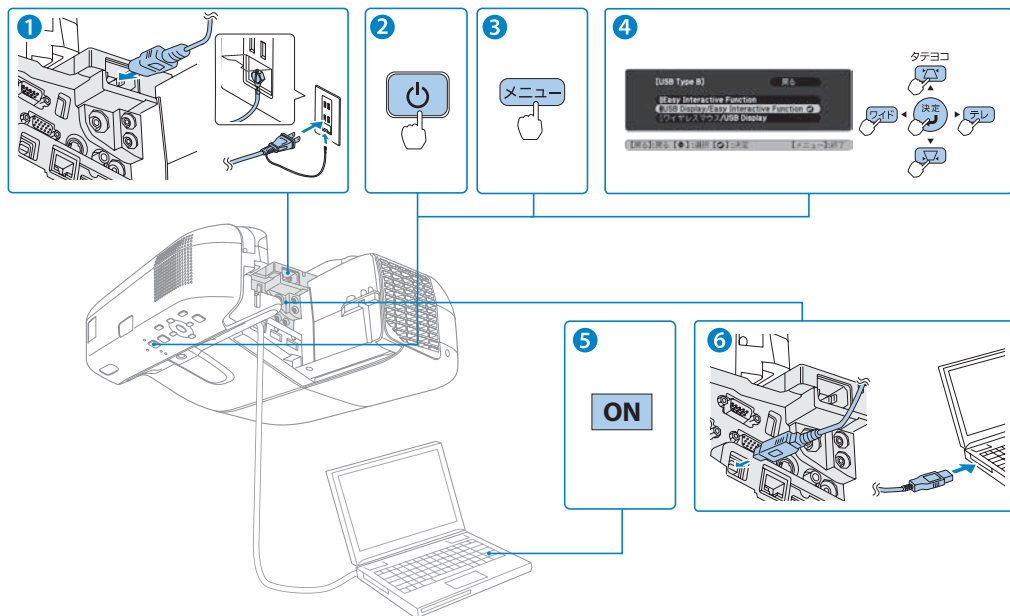
『EasyMP Multi PC Projection 操作ガイド』（PDF）

EasyMP Multi PC Projection の使い方を記載しています。
ネットワークに接続したコンピューターやスマートフォンなどの画面を同時に 4 台まで本機から投写できます。

『Easy Interactive Tools Ver.3.0 操作ガイド』（PDF）

Easy Interactive Tools Ver.3.0 の使い方を記載しています。
本機から投写したコンピューター映像上に文字や絵などを描画できます。

Document CD-ROM 内のマニュアルの見方

PDF をご覧いただくには Adobe Reader が必要です。

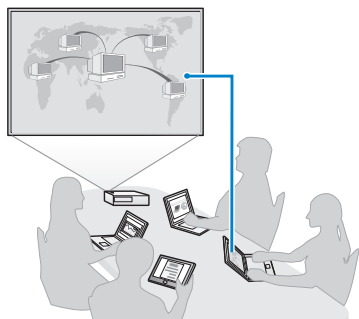
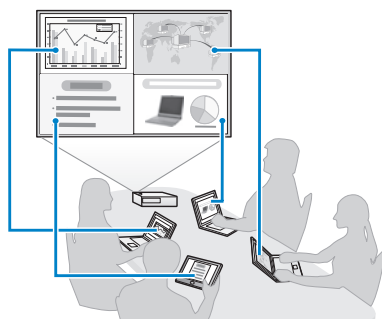
コンピューターと接続して投写する

1. 本機とコンセントを電源コードで接続します。
2. 操作パネルの電源ボタン【⏻】を押して、本機の電源を入れます。
3. 操作パネルの【メニュー】ボタンを押して、環境設定メニューを表示します。
4. [拡張設定]の[USB Type B]を[USB Display/Easy Interactive Function]に設定します。
5. コンピューターの電源を入れます。
6. 同梱のUSBケーブルでコンピューターのUSB端子と本機のUSB-B端子を接続します。

   初めて接続したときは、自動的にドライバーのインストールが開始されます。画面の指示に従いインストールが完了したら、映像が投写されます。映像の投写と同時に音声も再生できます。

参考 オプションのコンピューターケーブルを使って投写するときは、コンピューターのディスプレイ入力端子と本機のコンピューター入力端子を接続します。
☞『取扱説明書』「接続する」

ネットワークに接続して投写する

ミーティングや授業などで複数のコンピューターやタブレット端末の画面を投写するときは、ネットワーク経由で接続すると便利です。
ネットワーク経由での投写には、同梱の EPSON Projector Software CD-ROM に収録されているソフトウェアを使います。タブレット端末の画面を投写するときは、Epson iProjection をダウンロードします。Epson iProjection は Google Play または App Store から無料でダウンロードできます。

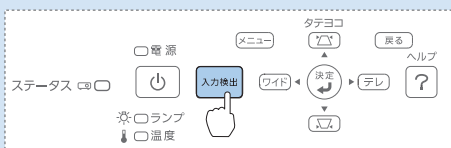
- 複数の資料を切り替えて投写する
（EasyMP Network Projection）

- 複数の資料を同時に投写する
（EasyMP Multi PC Projection）

警告

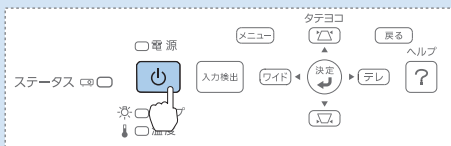
- 投写中はレンズをのぞかないでください。
- 必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外すときは、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- 投写レンズ付近にものを置いたり、手を近づけたりしないでください。投写光が集束するため高温になり危険です。

注意

本機の吸気口・排気口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

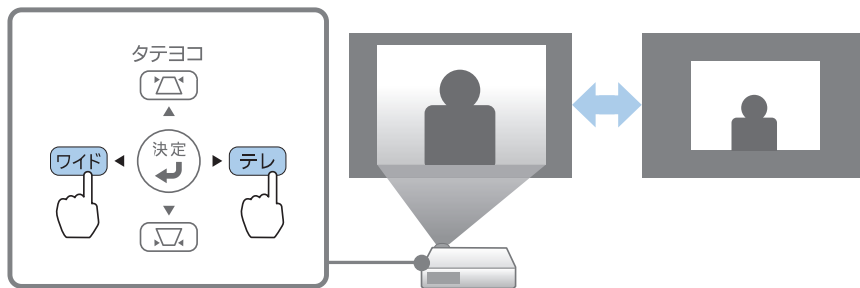
映像が投写されないときは

操作パネルの【入力検出】ボタンを押します。

電源をオフにするには

電源ボタン【⏻】を 2 回押します。

映像を補正する

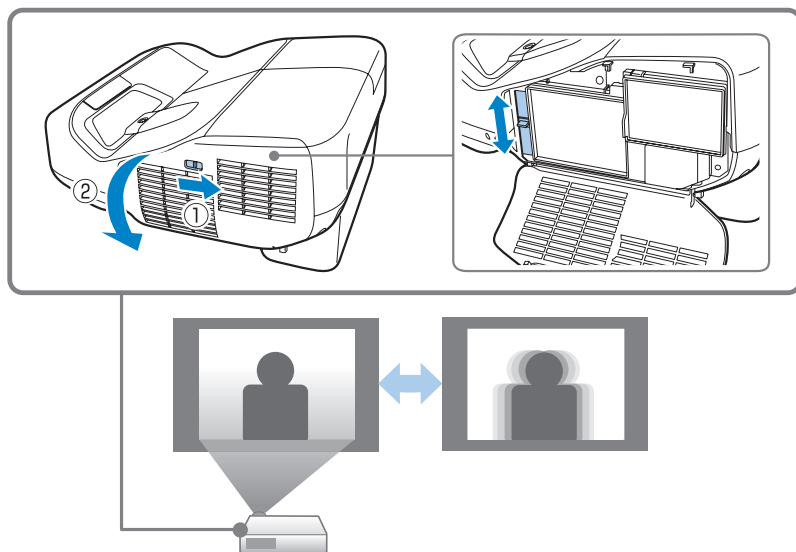
参考 映像の補正を行うと、Easy Interactive Pen で描画している位置と実際に投写画面上に描画される位置がずれてしまうことがあります。映像の補正は、Easy Interactive Pen の位置合わせの前に行うことをお奨めします。

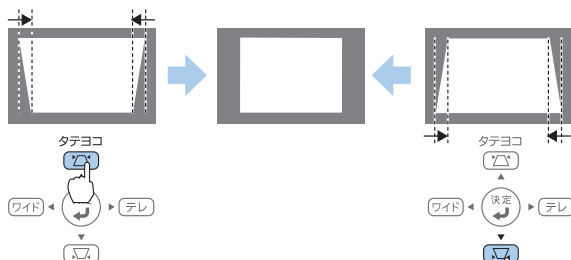
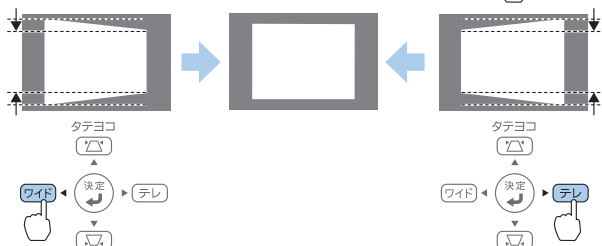
映像のサイズを変えたいときは

【ワイド】【テレ】ボタンで映像サイズを調整します。

映像のサイズは本機とスクリーンの距離によっても変わります。

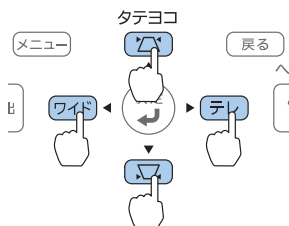
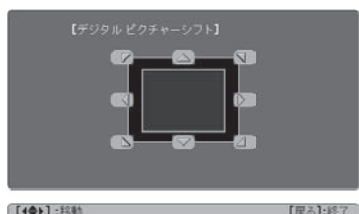
スクリーンに近づけると小さく、スクリーンから遠ざけると大きくなります。
詳細は、『取扱説明書』「スクリーンサイズと投写距離」をご覧ください。

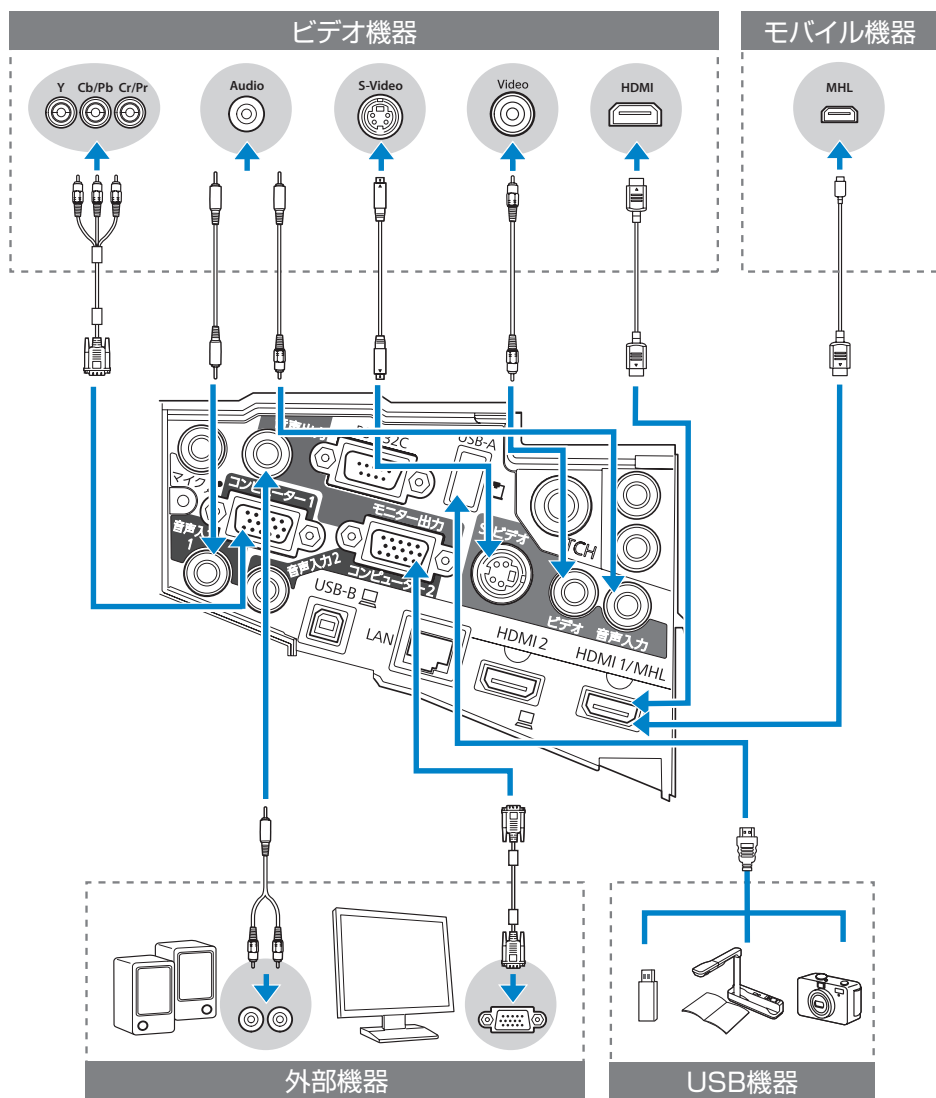
映像がぼやけるときは

フォーカスレバーでピントを調整します。

映像が台形にゆがむときは

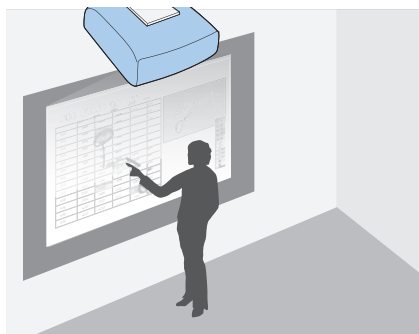
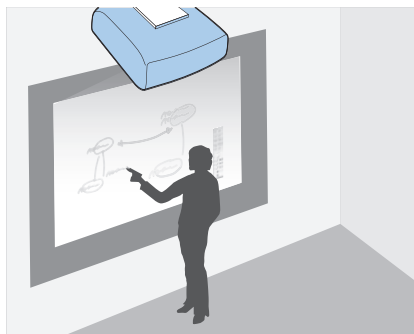
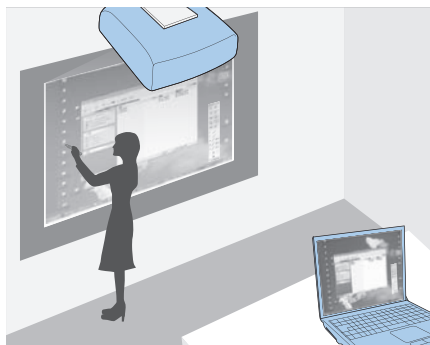
台形補正画面を表示して、タテ方向・ヨコ方向の台形ゆがみを個別に補正します。
台形補正画面は、操作パネルの【⏶】または【⏷】ボタンを押すと表示されます。

参考　投写するスクリーンに合わせて、4 つのコーナーを個別に補正することもできます。(Quick Corner)
☞『取扱説明書』「投写映像を調整する」

映像の位置を調整するには

ズーム調整または台形補正後に、デジタルピクチャーシフト調整画面が表示され、投写位置を調整できます。

さまざまな機器と接続する

DVD プレイヤーや VHS ビデオなどの映像機器、USB メモリーや書画カメラなどの USB 機器、スマートフォンやタブレット端末などのモバイル機器からの映像を投写するときは、下図のように接続します。

> **注意**
> - 接続機器の電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
> - プラグの向きや形状が異なった状態で無理に押し込まないでください。機器の破損や故障の原因になります。

インタラクティブ機能

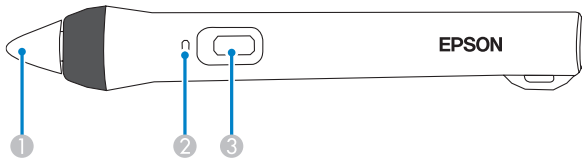
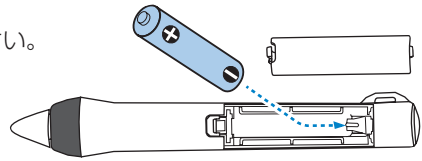
インタラクティブ機能は、以下の 3 つのモードがあります。
ここでは各モードを使い始めるまでの流れを説明しています。

投写映像に描画する
（アノテーションモード）

ホワイトボード画面に描画する
（ホワイトボードモード）

投写画面からコンピューターを操作する
（マウス操作）

目次

Easy Interactive Pen の使い方

Easy Interactive Pen は 2 種類あり、ペン後方部の色が異なります（オレンジと青）。ペン後方部の色が異なるペンは、2 本同時に使用できます。

お使いになる前に電池（1 本）をセットしてください。

交換用の電池は以下のいずれかを使用します。
- 単 3 形マンガン乾電池
- 単 3 形アルカリマンガン乾電池
- eneloop® ※（HR-3UTG/HR-3UTGA/HR-3UTGB/BK-3MCC）
  ※ eneloop® はパナソニックグループの登録商標です。

1 ペン先ボタン
- ペン先ボタンを押すと、Easy Interactive Pen の電源がオンになります。オンになった後、Easy Interactive Pen を使用できるまでに約 1 秒かかります。
- 描画するには、ペン先ボタンを押し当てて動かします。
- ポインターを移動するには、ペンを投写面から浮かせた状態で動かします。

2 バッテリーインジケーター
ペン側面にあるボタンを押したときに、電池残量をお知らせします。
- 緑色に点灯：電池残量は十分です。
- 緑色に点滅：電池残量が少なくなってきています。
- 点灯しない：電池残量がありません。電池を交換してください。

3 ボタン
- ペン側面にあるボタンを押すと、Easy Interactive Pen の電源がオンになります。オンになった後、Easy Interactive Pen を使用できるまでに約 1 秒かかります。
- 描画時に押すたびに、ペン先ボタンの機能をペンから消しゴムへ交互に切り替えます。
- マウス操作時に押すと、マウス操作の右クリックができます。

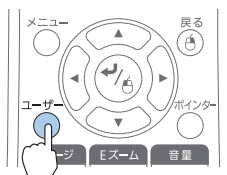
- Easy Interactive Pen を 20 分間使わないと、電源が自動でオフになります。使用するときは、ペン先ボタンを投写面に押し当てるか、ペン側面にあるボタンを押して、電源をオンにしてください。
- Easy Interactive Pen のペン先の黒い部分を持ったり、傷や汚れを付けたりしないでください。Easy Interactive Pen が動作しないことがあります。

ペン位置合わせ（自動位置合わせ）

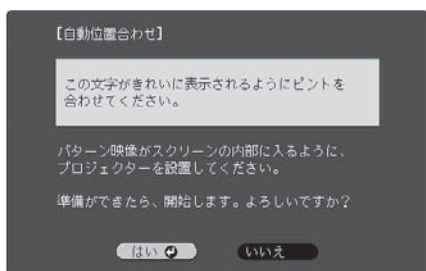
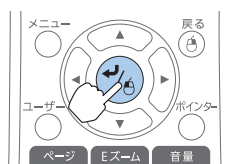
以下のときにペン位置合わせを行います。

- Easy Interactive Pen を初めて使用するとき
- 投写映像の補正やプロジェクターの移動などでペン位置がずれてしまったとき

1 リモコンの【ユーザー】ボタンを押します。

リモコン操作

参考 環境設定メニューから自動位置合わせを開始することもできます。
[拡張設定] - [Easy Interactive Function] - [自動位置合わせ] を選択してください。

2 表示されるメッセージに従い、ピントを調整します。

3 [はい] を選択します。

リモコン操作

4 パターン映像が投写され、ペン位置合わせが始まります。

完了するまで、しばらく時間がかかります。
パターン映像の投写中は、投写光の中に入らないようにしてください。

参考 自動位置合わせに失敗したときは、エラーメッセージが表示されます。手動位置合わせを行ってください。
☞『取扱説明書』「電子ペンを使う」

描画する（アノテーションモード / ホワイトボードモード）

アノテーションモードでは、投写した資料に Easy Interactive Pen で文字や図形を自由に描画できます。プレゼンテーションで重要なポイントを強調したり、補足を書き込んだりするのに便利です。
ホワイトボードモードでは、ホワイトボードのような無地の背景が投写され、その上に Easy Interactive Pen で文字や図形を描画できます。

1 Easy Interactive Pen の電源をオンにして、投写画面に近づけます。

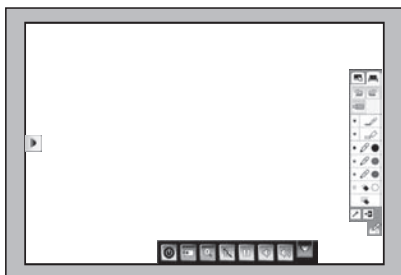
投写画面にツールバータブが表示されます。

2 [◀] または [▶] ツールバータブを押します。

ツールバーが表示されます。ツールバーが表示されたら、Easy Interactive Pen を使って投写画面上に書き込みができます。
ツールバーの詳細は『取扱説明書』「インタラクティブ機能を活用する」をご覧ください。

3 ツールバーで各モードのアイコンを押します。

アノテーションモード：
[ ] を押すと、投写画面上に次のようなツールバーが表示されます。

ホワイトボードモード：
[ ] を押すと、次のようなホワイトボード画面とツールバーが表示されます。

投写画面からコンピューターを操作する（マウス操作）

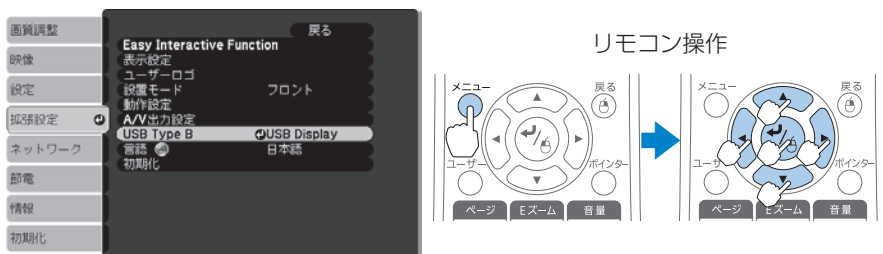
USB ケーブルでコンピューターとプロジェクターを接続すると、投写画面上でコンピューターを操作できます。コンピューターのマウスと同じようにクリックやドラッグ & ドロップなどができます。

> **参考**
> OS X をお使いの場合は、Easy Interactive Driver をインストールする必要があります。
> ☞『取扱説明書』「投写画面でコンピューターの操作を行う（マウス操作）」

1 USB ケーブルでプロジェクターとコンピューターを接続します。

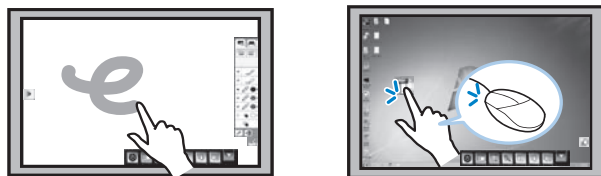
> **参考**
> ネットワーク経由でマウス操作をするときは、USB ケーブルは不要です。

2 プロジェクターからコンピューターの映像を投写します。

3 環境設定メニューの [拡張設定] から、[USB Type B] の設定をします。

- コンピューターケーブルを使用して投写しているときは、[Easy Interactive Function] に設定します。
- USB ケーブルを使用して投写しているときは、[USB Display/Easy Interactive Function] に設定します。

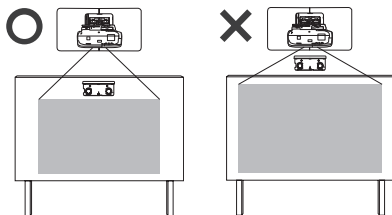
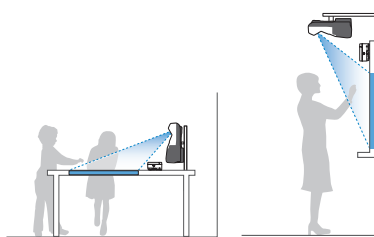
> **参考**
> - ネットワーク経由でマウス操作をするときは、[USB Type B] の設定は不要です。
> - マウス操作からアノテーションモードに切り替えるときは、以下のいずれかの方法で切り替えます。
>   - リモコンの [ペンモード] ボタンを押す
>   - Easy Interactive Pen でツールバーの [ ] を押し、表示された [ ] を選択する

指を使って操作する

タッチユニットを取り付けると、指を使って投写画面への描画やマウス操作ができます（指タッチ操作）。

指タッチ操作を行うには、次の作業が必要です。詳しくは『設置工事説明書』をご覧ください。

1. タッチユニットを投写面に取り付ける
2. ペン位置合わせを行う
3. レーザー照射の角度調整を行う

参考

- タッチユニットは、投写画面と同じ平面に取り付けます。投写画面とタッチユニットの設置面との間に 5mm 以上の段差があると、指タッチ操作ができないことがあります。

- タッチユニットを使用するときは、以下のいずれかの方法でプロジェクターを設置してください。他の方法で設置すると、タッチユニットは使用できません。
  - 壁掛けまたは天吊りして、スクリーンの正面から投写する
  - 机上に縦置き設置して、机の正面から投写する

- タッチユニットの内部には高出力レーザー製品が組み込まれています。タッチユニットを使用する前に、必ず『取扱説明書』「指を使って操作する」をご覧ください。

付属アプリケーションのご案内

付属のアプリケーションを使うと、描画した画面を保存したり、方眼紙などのテンプレートを使って描画したりと、インタラクティブ機能をより活用できます。
用途に合わせてお使いください。

『EPSON Projector Software for Easy Interactive Function』CD-ROM

Easy Interactive Tools Ver.3.0、Easy Interactive Driver Ver.3.0が収録されています。
Easy Interactive Tools Ver.3.0をインストールすると、描画した図形の拡大縮小をしたり、描画した画面を保存したりできます。OS Xをお使いの場合は、Easy Interactive Driver Ver.3.0もインストールする必要があります。

『PenPlus for EPSON 電子黒板』CD-ROM

PenPlus for EPSON 電子黒板が収録されています。
書き順を記録したり、スポットライトのように投写画面の一部のみを表示したりと、教育現場で便利な機能を使用できます。詳細は、『PenPlus for EPSON 電子黒板 CD-ROM』に収録されている取扱説明書をご覧ください。
☞「PenPlus for EPSON マニュアル.pdf」

なお、PenPlus for EPSON 電子黒板は、Windowsのみ対応しています。OS Xで描画アプリケーションを使用するには、上記の『EPSON Projector Software for Easy Interactive Function』CD-ROMに収録されているEasy Interactive Tools Ver.3.0を使用してください。

インジケーターの見方

：点灯　：点滅　：消灯
：本機の状態により異なる場合

❏ 正常動作時のインジケーターの状態

インジケーター	状態	説明
青	スタンバイ	を押すと投写を開始します。
青　青	ウォームアップ中	を押しても反応しません（約 30 秒）。
青　青	投写中	通常動作中です。

❏ 異常 / 警告時のインジケーターの状態

インジケーター	状態	対処
青　橙	内部異常	電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。
青　橙	ファン異常 センサー異常	
青　橙	内部高温異常 約 5 分間そのままの状態で待ち、電源プラグをコンセントから抜きます。	次の 2 点を確認してください。 ・壁際に設置しているときや、エアフィルターまたは排気口がふさがる場所に設置しているときは場所を移動します。 ・エアフィルターの掃除または交換をします。
青　橙	高温警告	
青　橙	ランプ異常 / ランプ点灯失敗	次の 2 点を確認してください。 ・ランプを取り出して、割れていなければ再セットして電源を入れます。ランプが割れているときはお買い上げの販売店または表紙に記載の連絡先にご相談ください。 ・エアフィルターを掃除します。
青　橙	ランプ交換勧告	すみやかに、新しいランプと交換してください。このまま使い続けると、ランプが破裂するおそれがあります。
青　橙　橙	オートアイリス異常	電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または表紙に記載の連絡先に修理を依頼してください。
青　橙　橙	障害物検知異常	次の 2 点を確認してください。 ・投写窓付近の障害物を取り除きます。 ・障害物がないときは、障害物検知センサーを掃除します。

※ 上記の対処を行ってもエラーになるときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または表紙に記載の連絡先に修理を依頼してください。